

MS-EXCEL

5.0 for Windows
エクスメディア——著

First Book



3.5"2HD
データディスク付

FDはカウンターに
申し出て下さい。

SOFTBANK BOOKS **SOFT
BANK**

MS-EXCEL

5.0

for Windows

エクスメディア——著

First Book

江苏工业学院图书馆
藏书章



SOFTBANK BOOKS

**SOFT
BANK**

株式会社エクスメディア

代表取締役 工藤雅俊

1994年2月設立、マニュアル制作(文字の世界)とアニメーション制作(映像の世界)からマルチメディア事業に取り組む。フジテレビ「プロ野球ニュース」にアニメーション提供中。

著書

「LOTUS 1-2-3 ビジネスマスター」(工藤雅俊、共著)

「一太郎 Ver.5 SUPER BOOK」全3巻 (マイヨ・ヴェール)

「一太郎 Ver.5 for Windows SUPER BOOK」全2巻

「Lotus 1-2-3R4J for Windows SUPER BOOK」

MS-EXCEL 5.0 First Book

1994年7月1日 初版発行

著者 エクスメディア

発行者 橋本五郎

発行所 ソフトバンク株式会社 出版事業部
〒103 東京都中央区日本橋浜町3-42-3
販売 03(5642)8101
編集 03(5642)8141

印刷 文唱堂印刷株式会社

落丁本・乱丁本は小社販売局にてお取り替えいたします。

定価はカバーに記載されております。

Printed in Japan

ISBN4-89052-540-8

- Microsoft Excel、Microsoft Word、MS-DOS と Windows は、マイクロソフト株式会社の登録商標です。
- LOTUS 1-2-3 は、米国 Lotus Development Corporation の登録商標です。
- その他、本書に掲載したプログラム名、システム名、CPU など是一般に各社の登録商標です。本文中では TM などのマークは明記していません。

© 1994 エクスメディア

本書のプログラムを含むすべての内容は、著作権法上の保護を受けています。著者、発行者の許諾を得ず、無断で複写、複製することは禁じられています。

はじめに

Minor but Major Changes

Microsoft Excel 5.0 (以下EXCEL 5.0) には、マルチワークシート機能が組み込まれました。実用的にはこの機能拡張が最大のポイントでしょうが、その他にも数多くの改良が施されています。基本的には、他のソフトに追い抜かれていた機能を取り入れた点と、Microsoft Word と併用して利用するためのメニューデザインなどの変更が施されています。

しかしながら今回のバージョンアップは、ユーザからの意見を取り入れるために多大の努力が払われています。世界70ヶ所でインタビューを実施すると同時に米国では4ヶ月で600件のユーザからの希望や要求を収集し、「Instrumented Version」という操作の記録を分析するためのバージョンを4000ユーザにつかってもらい、これらの分析を元に、Microsoft Excel 4.0 (以下EXCEL 4.0) の2.5倍の開発工数をかけてバージョンアップを実施したということです。

このように今回のバージョンアップは、派手な機能強化というよりは、ユーザが本当に必要としている機能や使いやすさとは何かを根本的に研究した結果の集大成です。「機能はあまり変わっていないけれども使い勝手が以前より格段に使いやすくなっている」点が随所に見られます。本書では、このような地道なバージョンアップを1つ1つビジュアルに解説していきます。

EXCEL 4.0と比較してのEXCEL 5.0の紹介が本書の目的ですので、EXCEL 4.0を使ってきた方には本書だけでEXCEL 5.0が理解できると思います。随所にLOTUS 1-2-3R4J for Windows との比較も記述しました。

EXCEL 5.0の操作を最初からマスターしたい方は、次に刊行予定のEXCEL 5.0 SUPER BOOKを利用してください。本書の制作には、弊社の他書と同様「読むよりは見るマニュアル」と「充実した索引」を一貫して採用致しました。

弊社の欲張り企画を毎回支援してくださるソフトバンク株式会社の沖山編集長に心から感謝の意を表します。

1994年初夏

著者

本書/付属ディスクの使い方

本書の使い方

本書は、EXCEL 4.0からEXCEL 5.0へのバージョンアップに際して「いったいどこが新しいのか」「いったいどのように使いやすくなったのか」に焦点をしばって制作しました。

ですから、本書を利用して「EXCELにはもっと機能があるはず」と思われた方は、ほかのEXCEL 5.0全体の解説書を利用されるか、7月に刊行予定の弊社の「EXCEL 5.0 for Windows SuperBook」を参照してください。

本書では、EXCEL 4.0を使っていた方がEXCEL 5.0に移行するための、必要最小限の事項を解説しています。すなわち、EXCEL 5.0の新機能を理解するために必要があれば、EXCEL 4.0から備わっていた機能に関しても解説しています。

解説に際しては、できる限り例を絞りこんで、あまり多くの例を理解しなくても全体が把握できるように配慮してあります。ワークシートを「組み上げるのは面倒！でき上がりを使ってみたい」方や「あれ？思うようにプログラムできない！」と思われた方は、解説に利用した例を付属のサンプルディスクにまとめてありますので参照してください。

付属ディスクの使い方

付属ディスクには、右頁上の15個のワークシートを収録してあります。EXCEL 5.0を起動し、[ファイル] [開く] で<ファイルを開く>ダイアログを開き、[ドライブ] でフロッピーディスクドライブを指定し、左の表にしたがって開きたいファイル名をダブルクリックするか、ファイル名をクリックして [OK] ボタンをクリックしてください。

第3章 計算式と関数の入力の進歩

(ファイル名) (頁) (セクション) (内容)

EG1.xls	P75	3.2	関数ウィザード機能
EG2.xls	P80	3.3	名前ボックスの機能
EG3.xls	P85	3.4	オートSUM機能の改良

第4章 マルチワークシート機能

(ファイル名) (頁) (セクション) (内容)

EG4.xls	P114	4.4	串刺し計算の例
EG5.xls	P117	4.5	費目別合計付き現金出納帳
EG6.xlt	P122	4.6	複数のワークシートの同時編集

第5章 グラフの作成と書式設定に関する新機能

(ファイル名) (頁) (セクション) (内容)

EG7.xls	P140	5.3	データ系列の追加 (埋め込みグラフ) 追加前データ
EG8.xls	P140	5.3	データ系列の追加 (埋め込みグラフ) 追加後データ
EG9.xls	P140	5.3	データ系列の追加 (グラフシート) 追加前データ
EG10.xls	P140	5.3	データ系列の追加 (グラフシート) 追加後データ
EG11.xls	P150	5.6	図形オブジェクトのグラフへの追加
EG12.xls	P154	5.8	近似曲線の利用例
EG13.xls	P160	5.9	近似曲線を利用した予測
EG14.xls	P162	5.10	誤差範囲の表示

第6章 データベース機能の進歩

(ファイル名) (頁) (セクション) (内容)

EG15	P169	6.2	リストの作成
EG16	P171	6.3	データの並べ替え
	P176	6.4	データの描出
	P182	6.5	リストの集計
	P187	6.6	ピボットテーブル

目次

本書/付属ディスクの使い方	iv
第1章 バージョンアップ概要とGUIの進化	1
1.1 実用指向のバージョンアップ	2
1.2 画面デザイン/メニューの変化	6
1.3 ショートカットメニューとタイトル表示	15
1.4 ツールバーのカスタマイズ	16
1.5 ヒントウィザード機能	36
1.6 オプション設定	38
第2章 データ入力・印刷の進歩	55
2.1 入力・印刷の進歩とセル内入力	56
2.2 オートフィル機能の強化	60
2.3 書式設定のバージョンアップ	64
2.4 印刷設定のバージョンアップ	67
第3章 関数と計算式の入力の進歩	73
3.1 「計算式と関数」の利用の進歩の概要	74
3.2 関数ウィザード機能	75
3.3 名前ボックスの機能	80
3.4 オートSUM機能の改良	85
3.5 ワークシートの分析	90
3.6 新しいシナリオマネージャ	96
第4章 マルチワークシート機能	103
4.1 マルチワークシート機能とブック	104
4.2 ワークシートの変更と取り扱い	106
4.3 3D範囲の選択と3D参照	112
4.4 串刺し計算の例	114
4.5 マルチワークシートの応用例	117
4.6 複数のワークシートの同時編集	122
4.7 オートテンプレートの利用	124
4.8 ブックの管理とオプション設定	126

第5章	グラフの作成と書式設定に関する新機能	133
5.1	グラフメニューの変化	134
5.2	新しいグラフウィザード	138
5.3	データ系列の追加	140
5.4	オートフォーマット機能	144
5.5	グラフの書式設定の新機能	147
5.6	図形オブジェクトのグラフへの追加	150
5.7	近似曲線と誤差範囲の種類	152
5.8	近似曲線の利用例	154
5.9	近似曲線を利用した予測	160
5.10	誤差範囲の表示	162
第6章	データベース機能の進歩	167
6.1	データベース機能の進歩の概要	168
6.2	リストの作成	169
6.3	データの並べ替え	171
6.4	データの抽出	176
6.5	リストの集計	182
6.6	ピボットテーブル	186
第7章	ファイルの取り扱い	199
7.1	EXCEL 5.0のファイルの取り扱い	200
7.2	表計算ソフトのファイルの読み込み	202
7.3	テキストファイルのための2つのウィザード	204
第8章	その他の新機能	213
8.1	マクロとVBA	214
8.2	マクロの登録	220
8.3	外部データベースの利用	229
8.4	OLE2.0の利用	233
付録	EXECL 5.0関数一覧	235

10 EXCEL 5.0

第1章 バージョンアップ 概要とGUIの進化

1.1 実用指向のバージョンアップ

1.2 画面デザイン/メニューの変化

1.3 ショートカットメニューとタイトル表示

1.4 ツールバーのカスタマイズ

1.5 ヒントウィザード機能

1.6 オプション設定

1.1 実用指向のバージョンアップ

概要

EXCEL 5.0へのバージョンアップは実用指向のバージョンアップです。そしてその内容は、他のソフトにはない画期的な機能の追加と、今まで他のソフトに後れをとっていた機能の追加です。

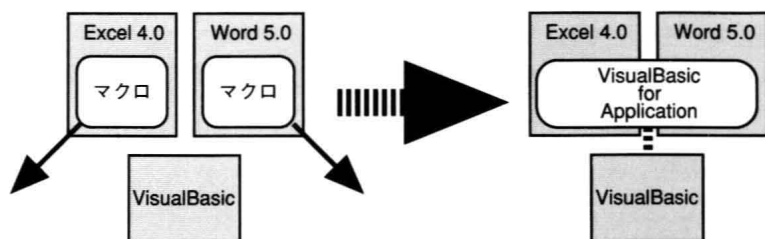
新しく登場するソフトや新しくバージョンアップされたソフトには、今までのソフトにはない機能が必ず盛り込まれているものですが、今回のバージョンアップにはWindows環境自体を提供しているマイクロソフト社が、Windows環境をさらに強力にした上で自社のソフトの競争力を一段と高めようという意図がありありとくみ取れます。また、「はじめに」にも紹介しましたが、今回は地道なユーザインターフェースの改善にも大きな努力を払ったようです。

Point 1

他のソフトにはない画期的な機能の追加

Windows環境において複数のアプリケーションを切り替えて多彩な作業を行なうことを念頭に置いて、表計算ソフトであるEXCEL 5.0は、近々日本語版が発表されるワープロソフトMicrosoft WORD 6.0（以下、WORD 6.0）との連携作業を行なうために、いくつかの便宜がはかられています。

その1つがEXCEL 5.0とWORD 6.0とのメニュー表示の共通化であり、マクロの共通化です。マクロの共通化といっても実はそう簡単なものではなく、マイクロソフト社が従来から提供してきたWindows環境でのBASIC言語Microsoft Visual Basicの一部Visual Basic for Application(VBA)を



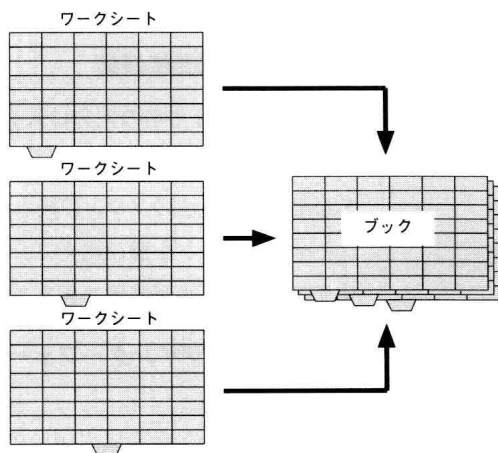
EXCEL 5.0とWORD 6.0の両方に共通に導入してしまう、という壮大なものです。いままで、各種の表計算ソフトやワープロソフトにはそれぞれある程度のマクロ機能が搭載されていましたが、ソフトごとにマクロをマスターする手間が最小限におさえられ、同時にBASIC言語の機能を制限はあっても利用できてしまうことは画期的なことです。

その他、まだ対応ソフトは少ないのですがOLE(Object Linking and Embedding) 2.0に対応、また、日本の事情にあわせてドーナツ型グラフを導入したほか、とかく利用するのがむずかしいグラフ機能にドラッグ&プロット機能を取り入れてデータ系列の追加を容易にしたり、セル間の参照状況を検査しやすいようにビジュアルなワークシート分析の機能を付加したことは大幅な進歩です。

Point2

マルチワークシート構造

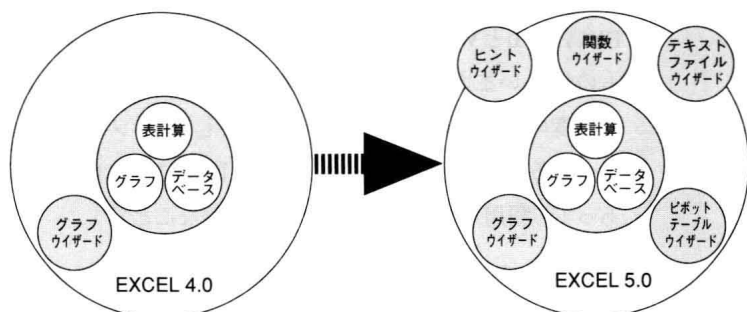
いままでもEXCEL 4.0にブック機能はありましたが、EXCEL 5.0からは新たにタブ形式を導入したマルチワークシート構造が実現しました。この機能が、今まで他のソフトに後れをとっていた最大の機能でした。



Point3

5つのウィザード機能

ウィザードとは魔女の男性形であり、使いにくい機能を使いやすくするためのツールです。いままでもEXCEL 4.0にグラフウィザードはありましたが、EXCEL 5.0には新たにヒントウィザード、テキストファイルウィザード、関数ウィザード、ピボットテーブルウィザードが追加されました。



ヒントウィザードは他のソフトにはない機能で、600ものケースの中から次の操作手順のアドバイスを画面上に表示します。テキストファイルウィザードはテキストファイル読み込みの際の設定を容易にし、関数ウィザードは関数入力の手間を大いに省き、ピボットテーブルウィザードはEXCEL 4.0のアドイン機能であった「クロス集計」機能が衣替えして機能強化したものです。

Point 4

セル内文字の編集機能

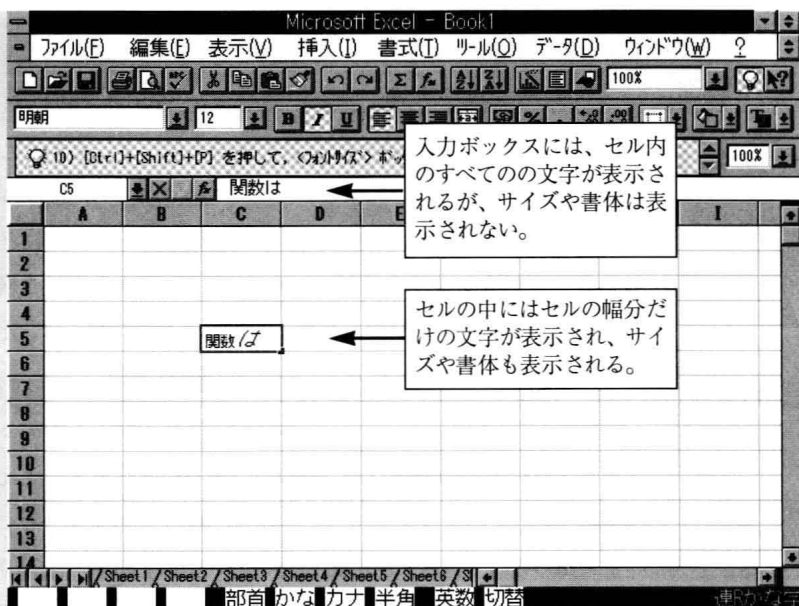
EXCEL 4.0では文字の入力は入力ボックスでしか行えませんでした。EXCEL 5.0からはアクティブセル内に直接入力し編集できるようになりました。これも他のソフトに後れをとっていた機能でしたが、EXCEL 5.0はキャッチアップを飛び越えて、さらに1つのセル内で複数のフォント・サイズ・スタイルが使用できるようになりました(右頁上の図参照)。

Point 5

その他のユーザインターフェース機能等の改善

他のソフトをキャッチアップした機能としては、2バイトコード数字の1バイト数字への自動変換、右クリックでのショートカットメニューの表示があげられます。

その他、マウスカースルをアイコン上に移動したときのタイトルのポップアップ、スマートフィル機能の一層の改良のほか、ダイアログボックスに立体パネルの形式を取り入れて一括指定ができるようになり(右頁下の図参照)、EXCEL 4.0と比べてはるかに使いやすくなりました。そのうえ、オ



ートフィルタ機能の改良などによりデータベース機能の操作も格段に便利になっています。

1.2 画面デザイン/メニューの変化

概要

EXCEL 4.0のユーザがEXCEL 5.0の画面を開いて、まずメニュー配置やボタンの変更に気づくでしょう。これは、EXCELとWORDの操作環境を統合するための修正です。EXCELしか利用しないユーザにとっては好ましいものではないかもしれないのですが、EXCELだけを利用したい、EXCEL 4.0のメニュー配置を利用したいユーザのためには、そのように設定できるオプションも用意されています(46頁参照)。

しかしながらEXCEL 4.0のメニューの「式」や「他」などのメニュー名はあまり的を得たものではなかったので、新しいメニューに慣れた方が今後は便利ではないかと思われます。EXCEL 4.0で「ウィンドウ」のメニューの下にあった「ズーム」がEXCEL 5.0の「表示」のメニューの下に移ったり、EXCEL 4.0で1番上のメニューにあった「マクロ」がEXCEL 5.0の「ツール」のメニューの下に移ったり、まとめ方が洗練されています。

下の図に、メニューの配置の変化を示します。右頁から新しいメニューの構造を解説します。グラフに関するメニューは第5章で解説します。

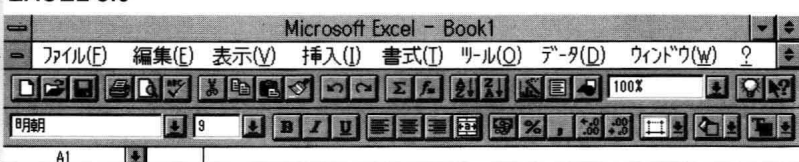
EXCEL 4.0



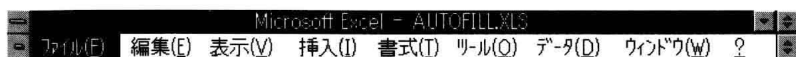
WORD 5.0



EXCEL 5.0



ファイル



新しいブック／シートを作成
既存ブック／ファイルを読み込む
現在のブックを閉じる

ファイル(F)	
新規作成(N)...	Ctrl+N
開く(O)...	Ctrl+O
閉じる(C)	
上書き保存(S)	Ctrl+S
名前を付けて保存(A)...	
作業状態を保存(W)...	
ファイル検索(E)...	
ブック情報(I)...	
ページ レイアウトの設定(U)...	
印刷プレビュー(V)	
印刷(P)...	Ctrl+P
レポートの印刷(E)...	
送信(D)...	
回覧用紙の追加(R)...	
1 AUTOFILL.XLS	
2 BOOKST.XLS	
3 SALES.XLS	
4 SAMPLES.XLS	
Microsoft Excel の終了(X)	

ディスクに現在のブックを保存
ファイル名やファイルの保存形式を変えて保存
現在のブックの表示サイズや位置などを作業状態ファイルに保存

指定された条件でファイルを検索し、読み込み、印刷、削除などを行なう
ブック情報を閲覧、編集

ページレイアウトやプリンタ設定の変更
印刷時のイメージを確認表示
印刷範囲や部数など設定し、ファイルを印刷
ビューとシナリオをレポートにして印刷

すべてのブックを閉じてExcelの終了

電子メールシステムが組み込まれているとき、ファイルを送信、回覧
電子メールシステムが組み込まれているとき、現在のブックに回覧用紙を追加、変更

*上の図で、シャドウがかかっているメニューはEXCEL 4.0から、EXCEL 5.0へのバージョンアップで、変更された部分です。その他のメニューも同様です。

編集



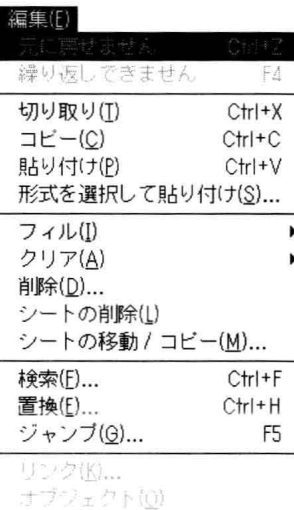
直前の操作を取り消して元の状態にする
直前に実行した操作を繰り返す

選択した範囲の内容を消去してクリップボードに入れる
選択した範囲の内容をクリップボードにコピー
クリップボードの内容をシートにコピー
形式を選択してクリップボードの内容をシートにコピー

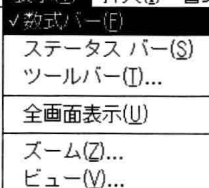
選択した範囲に連続してコピー
選択した範囲の内容をクリップボードに入れずに消去セル、列、行を削除
選択したシートをブックから削除
選択したシートを他のブックや同じブックの別の位置へ移動／コピー

指定した文字が入力されているセルを検索
文字列を検索し、指定した文字列に置き換える
セルや名前を指定して移動

リンクされているファイルの読み込み、リンク方法の変更
選択したオブジェクトの編集



表示



全画面表示／通常の画面表示を切り替える

ワークシートを拡大／縮小
ビューの作成、表示、削除